

平成22年度
第44回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト＜大学の部、職場・一般の部＞
静岡県大学・職場・一般アンサンブルフェスティバル
開催要項

1. 概要

- (1) 名称 第44回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト＜大学の部、職場・一般の部＞
(第37回東海アンサンブルコンテスト予選／第34回全日本アンサンブルコンテスト予選)
静岡県大学・職場一般アンサンブルフェスティバル
- (2) 日時 平成23年1月30日(日) 10:30開演 18:00終演 予定
*部門別の演奏とし、先に大学の部を実施します。
- (3) 会場 掛川市文化会館シオーネ 大ホール
〒437-1421 掛川市大坂7373 Tel 0537-72-1234
- (4) 主催 静岡県吹奏楽連盟／朝日新聞社
- (5) 主管 静岡県大学・職場・一般吹奏楽連盟
- (6) 後援 東海吹奏楽連盟
- (7) 審査員(敬称略, 50音順)
井上 圭 (名古屋フィルハーモニー交響楽団 トランペット奏者)
大川克夫 (クラリネット奏者)
香西秀彦 (東京フィルハーモニー交響楽団 打楽器奏者)
波多江史朗 (東京音楽大学講師 サクソフォン奏者)
水谷 仁 (名古屋フィルハーモニー交響楽団 ホルン奏者)
- (8) 参加資格 本連盟実施規定に基づく
静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト 実施規定 (抜粋)
第10条「同一奏者が二つ以上のグループに出場することは認めない。」
第11条「静岡県中学校吹奏楽連盟及び静岡県高等学校吹奏楽連盟に加盟する学校に所属する生徒は第10条に該当しなくとも一般の部における出場を認めない。」
- (9) 参加人員 同 上
コンテスト : 3名以上8名以下
フェスティバル : 2名以上20名程度まで
- (10) 演奏曲目 同 上
- (11) 演奏時間 同 上 コンテスト : 5分, フェスティバル : 5分程度
- (12) 演奏順 本年度は部門ごと以下の順番とし、人数の少ないほうから順に並べていきます。なお、同一編成がある場合には、本年度は東部→中部→西部の順番(年度ごとに変更)とします。ただし、打楽器アンサンブル等は搬出入をスムーズに行うため演奏順を配慮します。なお、同一編成・同一地区のエントリーがあった場合は理事会で演奏順を決定します。

本年度の出演順：打楽器→金管→Cla→木管→混成→Sax→Fl

- (13) 表彰 部門毎に、金賞・銀賞・銅賞のいずれかを授与する。
優れた団体には朝日新聞社賞、静岡県大学職場一般吹奏楽連盟理事長賞を授与します。

(14) 静岡県代表団体

東海アンサンブルコンテストに出場する静岡県代表団体数は東海吹奏楽連盟から指定された団体数とし、その団体は金賞受賞団体から選出する。

大学の部	:	2グループ
職場・一般の部	:	6グループ

12月4日東海吹連理事会で決定後 Web 掲載します。

同一団体からは2グループを限度とする。

東海アンサンブルコンテスト

日程：小学校・中学校・大学の部 平成23年2月12日（土）

高等学校・職場一般の部 2月13日（日）

会場：岐阜県羽島市文化センター

(15) フェスティバル参加団体の講評

フェスティバル参加団体への審査員の講評は行わない。

- (16) 参加費等 コンテスト : 演奏者1人あたり 2,000円

フェスティバル: 演奏者1人あたり 1,100円

フェスティバルでピアノ使用料を使用する場合は、使用するグループで負担する。

(17) 著作権使用料等

著作権使用料は著作権協会との間で著作権の包括的利用許諾契約を結んでいるため、演奏曲毎に掛かるのではなくアンサンブルコンテストに対して著作権使用料が発生します。このため著作権使用料は連盟で負担します。

- (18) 交通費等 参加に要する交通費は、参加団体が負担する。

参加に伴う保険への加入は、参加団体の判断で行う。

2. 参加申込方法

(1) 手続き

参加申し込み手続きの方法には、(a) インターネット申し込みを介したオンラインによる申し込みと、(b) 郵送またはファックスによる申し込みの2種類があります。事務処理軽減のため、なるべくオンラインで申し込んでください。

[資料1 参加申込の諸注意をご覧ください。](#)

(a) オンライン申込み (推奨)

以下のオンライン申込用Webサイトにアクセスして必要事項を入力し、送信してください。

同一団体から同じ編成が出場する場合は、A・Bのように判別がつくようにしてください。

*コンクール参加団体用 URL

<http://www.ajba.or.jp/shizuoka/>

*フェスティバル参加団体用 URL

<http://www.suzukish.com/suiren/cgi-bin/festival.html>

申込用紙と同じ内容の項目を入力できるようになっています。入力の際には、あらかじめ巻末の参加申込用紙に必要事項を記入しておき、入力事項を確認しながら行ってください。必要事項を打ち込んだら [送信] ボタンを押してください。正しく送信されると申込をした本人宛に確認のメールが届きます。確認のメールが届いたらプリンターで打ち出していただき、間違いがないかを確認してください。打ち出していただいたものは正式の参加申込用紙として取り扱いますので、代表者名の部分に押印の上、期日までにご提出ください。演奏曲の曲名、作曲者名・編曲者名・楽器編成および出版社が分かるページ (スコアの無い場合は、パート譜の1ページ目を全て)をこれとは別に画像ファイルにして、以下へメールの添付ファイルとしてお送りください。レンタル譜の場合は、演奏許諾書を同様の方法で提出してください。著作権保護期間にある作曲家の作品を編曲して演奏する場合には、編曲許諾書を提出してください。

県大職一吹連事務局 小川宏樹

楽譜等を画像ファイルにして送信することが困難な時は別途郵送またはFAXで送信しても構いません。

なお、申込み期限は必要書類提出も含め、12月20日(月)午後5時までとします。

*Web 申込時の入力ミスなどについては事務局までお知らせください。

(b) 郵送またはFAX送信による申込み

別紙参加申込用紙に必要事項を記入の上、演奏曲の曲名、作曲者名・編曲者名・楽器編成および出版社が分かるページ（スコアの無い場合は、パート譜の1ページ目を全パート分）のコピーとともに以下の担当者宛に郵送またはFAXで送信してください。なお、レンタル譜の場合は、演奏許諾書を同様の方法で提出してください。著作権保護期間にある作曲家の作品を編曲して演奏する場合には、編曲許諾書を提出してください。

申込用紙は12月20日（月）午後5時までに必着とします。

(2) 申込先 県大職一吹連事務局 小川宏樹

(3) 申込締切 平成22年12月20日(月)午後5時必着

提出書類

- ・ 参加申込書（Web申込みグループは返信されたもの、郵送・FAX申込グループは本要項内の申込書）
- ・ 演奏曲スコアの表紙（出版社、作曲者、編曲者、編成が記入されているもの）
- ・ 編曲許諾書（該当団体）
- ・ 演奏許諾書（該当団体）

3. その他

(1) 入場方法 入場料：無料

(2) プログラム 本年度は県吹連統一になります。参加者には無料で配布します。
一般入場者へは1部500円で販売します。

(3) 練習会場 主催者では用意しません。

(4) 駐車場 駐車場には限りがありますので出来るだけ相乗りをお願いします。

(5) 注意事項 a. ホール内での写真及びビデオ撮影・録音は禁止します。カメラ付携帯電話での撮影も禁止です。
b. 会場内での飲食及び喫煙は全館禁止とします。

(6) 問い合わせ先 県大職一吹連事務局 小川宏樹

アンサンブルコンテストでの楽曲演奏について

静岡県吹奏楽連盟事務局

【大前提】どのような曲も楽譜に指定された楽器および編成で演奏すること。

① 編成や楽器の変更は編曲行為にあたる

楽譜と異なる方法で演奏する場合には、その曲の著作権がある時には著作権者（外国曲の場合には日本での代理店）の承諾を得なければなりません。ところが特に外国曲の場合、こうした申請に対してすべて許諾書を出すということは膨大な数になるため、事務手続上不可能です。従って、日本の代理店（代理店がない場合には海外の著作権管理者）はこうした申請に対して承諾書を出していません。つまり、編成や楽器を変更して演奏させて欲しいという要請には基本的にはOKとは言ってくれません。自身で編曲したスコアを提出し、編曲許諾申請をするのであれば話は違ってきますが・・・。

現状ではコンクールの課題曲における代替楽器の使用や楽曲のカットなど、本来は著作権に触れるような部分を暗黙のうちに容認してきたこともあり、アンサンブルコンテストにおいては編成や楽器の変更はこれらと同様に暗黙のうちに容認されてきました。コンクールやコンテストという特殊な場であること、中学や高校では教育活動の一環として行われていることなども考慮されているようです。ただし、原則は「楽譜に指定された編成・楽器で演奏すること」であることを忘れないでください。

なお、編曲や編成変更等の承諾は正式な文書（メールでも可）でもらうことが望ましいのですが、電話等口頭で承諾を得た場合にはいつ（何月何日の何時）誰と交渉したのかを正式申込みを行う際に担当事務局に必ず文書で報告してください。

② 原曲と異なる人数で演奏することも①と同様である

原曲で指定された人数より多い人数で演奏することは次の③に抵触しますので認められませんが、原曲で指定された人数よりも少ない人数で演奏することも編曲行為にあたると考えられますので、著作権が存在する曲の場合にはどのようにして演奏するのかをスコアで示し、著作権管理者の許諾を得る必要があります。現在、アンサンブルは8名までとなっていますので、著作権が存在する金管十重奏の曲（「葡萄酒を讃えて」「ロンドンの小景」など）を8名で演奏する場合には著作権管理者に許諾を得る必要があります。但し、場合によっては許諾が得られないこともあります。

③ 1つのパートを2人で演奏することは不可

これは規定で禁止されています。特に打楽器アンサンブルの場合、1人では演奏困難なために1パートを2人で演奏することが考えられますが、これはアンサンブルコンテストの実施規定違反ですので認められません。どうしてもアマチュアでは演奏不可能なので、1パートを2人で演奏したい場合には編曲をしてスコアを著作権者に提出し、その許諾を得ることになります。単に1パートを2人で演奏したいと申し出ても、①と同様に許諾書は出してもらえません。

*** 著作権に関する問い合わせは以下へ**

JASRAC 本部 外国資料部 03-3481-2781

資料1 参加申込みの諸注意

1. 入力（記入）時の注意

1. ウェブページよりオンライン申込みの場合には、静岡県吹奏楽連盟ホームページから「平成22年度静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト Web 内の”説明はこちら”」参照して、間違いのないように入力してください。
2. パスワードは、「2010」です。
3. 出場大会で「アンコン静岡：大学職場一般県大会」を選択しパスワードを入力後、送信をクリックしてください。詳細入力画面になります。
4. 部門2で大学（241）・職場一般（261）・フェスティバル（271）のいずれかを選択してください。
5. 演奏者は必ず入力してください。ここでの入力は、重複参加の有無を確認する以外には使用しません。プログラム掲載の可否については、別項目での入力になります。
6. 団体名は、正式名称を記入してください。ここで記入した団体名が賞状や放送原稿で使用されます。
7. 演奏形態の欄には打楽器と管楽器の混成の場合、打楽器が主なのか、管楽器が主なのかを明記してください。また、その他特殊な編成の場合にもその編成を明記してください。ただし、管楽器だけを使用している場合には書く必要はありません。金管、木管の混成ならば混成○重奏と記してください。
(記入例1) 管打楽器八重奏（打楽器が主）
(記入例2) 混成五重奏（弦バス+サクソフォン四重奏）
8. 演奏者名の順番はどのような順番でも構いません。演奏者名とともにパート名（基本的には担当楽器名）も記入してください。
9. 演奏曲目の曲名は、外国曲の場合、必ず原題を原語で記入してください。音楽著作物使用申請をする際に事務局で必要となりますので、ご協力ください。また、組曲のような場合には、楽章ごとの標題について、日本語名および原語名を記入してください。標題がない場合には第何楽章または第何曲という表記で構いませんが、アラビア数字なのか、ローマ数字なのかの区別は明確にしてください。なお、ロシア語などの東欧圏の言語は、すべて英語表記としてください。
10. 作曲者・編曲者は、必ずフルネームを日本語と原語で表記してください。なお、ロシア語などの東欧圏の言語はすべて英語表記としてください。
11. 未出版の楽譜を使用する場合は「Manuscript」と記入してください。
12. オンライン申込みの場合、曲名、作編曲者名等を原語で表すことが困難な場合(英語以外の外国文字、漢字の旧字体など)は、適当な当て字を使いその旨を備考欄に記入してください。
13. オンライン申込みの際、1バイトのかな文字（いわゆる半角カタカナ）、コンピュータの機種に依存する文字（丸囲み数字、ローマ数字など）は使わないでください。特に楽章を表すローマ数字にはご注意ください。（アルファベットの I・V を使用のこと）

14. レンタル楽譜使用や著作権保護期間にある作曲家の曲の編曲及びその演奏許諾については、承諾を受けていることを証明する文書のコピーを必ず添付してください。
15. 申込書提出時には、フルスコアの表紙の部分（曲名・作曲者・編曲者・出版社等がわかるもの）のコピーを添付してください。
16. 録音は連盟で録音し、各グループにCDを渡します。
17. 写真撮影は行いませんので入力項目については無効とします。
18. プログラムへの氏名掲載については、各グループで承諾するか、辞退するかの意思表示をしてください。

第 4 4 回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト 大学の部、職場・一般の部

参加申込書

平成 年 月 日

部 門	大学・職場一般	団 体 名			
演奏形態			椅子及び譜面台数	椅子	脚・譜面台 台
プログラムへの演奏者名の掲載の可否		掲載する		掲載しない	

演 奏 者 名	パート	演 奏 者 名	パート

演奏曲名	邦題			
	原語			
作曲者名	邦名			
	原語			
編曲者名	邦名			
	原語			
使用楽譜	出版社名			
	(注 1) 使用楽譜は出版社名を国内以外は原語で記入してください。 (注 2) 未出版の場合には上記括弧欄に「Manuscript」と記入し、レンタル楽譜の場合には「レンタル」と記入してください。			
レンタル楽譜使用の許諾	許可条件 (録音、録画等の可否など)			
著作権保護期間中にある作曲家の作品の編曲および演奏の許諾	許可条件 (録音、録画等の可否など)			
交通手段	大型バス	台/乗用車	台/トラック () トン車	台
連絡先	住 所 〒			
	氏 名			
	電 話	F A X 番号		
	携 帯	e-mail		

静岡県吹奏楽連盟 様 上記のとおり県大会への参加申込をします。

記載責任者名

(注) この用紙はコピーしてお使いください。

静岡県大学・職場・一般アンサンブルフェスティバル
参加申込書

年 月 日

部 門	大学・職場・一般	団 体 名		
演奏形態		椅子および 譜面台数	椅子	脚・譜面台 台

曲名	邦題
	原語
作曲者	邦題
	原語
編曲者	邦題
	原語
出版社名	
曲名	邦題
	原語
作曲者	邦題
	原語
編曲者	邦題
	原語
出版社名	
(注1) 出版社名は国内以外は原語で記入してください。 (注2) 未出版の場合には上記括弧欄に「Manuscript」と記入し、レンタル楽譜の場合には 「レンタル」と記入してください。	
レンタル楽譜使用の許諾	許可条件(録音, 録画等の可否など)
著作権保護期間中にある 作曲家の作品の編曲 および演奏の許諾	許可条件(録音, 録画等の可否など)
交通手段	大型バス 台 / 乗用車 台 / トラック()トン車 台
	ピアノ使用 有 ・ 無
連絡先	住所 〒
	氏名
	電話 FAX番号
	携帯 e-mail

静岡県吹奏楽連盟 様 上記のとおり県大会への参加申込をします。

記載責任者名	
--------	--

静岡県吹奏楽連盟

会長 江間秀明 様

参加団体名を記入

代表者名または顧問名を記入

(印は不要)

第44回静岡県管打楽器アンサンブルコンテストの演奏者変更について（報告）

標記の件について下記のとおり変更しますので、御報告いたします。

記

1. 団体名および編成名

<例> 県立××高等学校 クラリネット八重奏

2. 演奏者の変更（注. 担当パート名、変更前→変更後の順で記入）

<例> 1st クラリネット 吉田圭子 → 佐藤恵子

3. 変更の理由

<例> 1st クラリネットを担当する予定であった吉田圭子が、風邪による発熱で出場
ができなくなったため。

4. 連絡先（注. 事務局から連絡する方の名前を記入、電話番号は携帯電話）

<例> 県立××高等学校 青山茂樹 電話 090-9999-9999